



ID: 1118

科目名	生命科学【26年度生用】			コード			
英語表記	Life Science						
担当教員名	古賀 大三・岩井 健			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
人として生きるために文系理系を問わず必要な教養科目として、生命及び自然と生物の関わりを理解するため、いろんな例について一緒に考える。さらに、昔からの生活の智恵として生命現象を利用してきた技術を科学的に理解し、最近のバイオテクノロジーを考察する。							
到達目標							
生命現象及び自然現象について、自分で問題意識を持ち、それに向かって考える習慣を身に着ける。							
授業計画							
第1回	序論1(種々の自然現象を科学的に考える)						
第2回	序論2(種々の生命現象を科学的に考える)						
第3回	生命1(細胞について学ぶ)						
第4回	生命2(生命にかかわる物質の役割について学ぶ)						
第5回	生命3(生命が如何に制御されているかを学ぶ)						
第6回	分子生物学1(遺伝子発現について学ぶ)						
第7回	分子生物学2(タンパク質の合成と輸送について学ぶ)						
第8回	人の免疫1(免疫機構について学ぶ)						
第9回	人の免疫2(抗体の多様性について学ぶ)						
第10回	植物(植物の役割・利用法について学ぶ)						
第11回	植物生体防御(植物が如何に身を守るか学ぶ)						
第12回	昆虫脱皮(昆虫が成長するなかで如何に脱皮するかを学ぶ)						
第13回	バイオテクノロジー1(昔からの生活の智恵をバイオテクノロジーと捉える)						
第14回	バイオテクノロジー2(バイオ食品、バイオエタノールなどについて一緒に考える)						
第15回	バイオテクノロジー3(化学農薬に替わる人に優しいバイオ農薬を知る)						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
					50	50	
授業外学習			テキスト、教材				
レポート提出			毎回、授業中に教材を配付する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
特になし			授業中に、一緒に考える習慣を身につけてほしい。そのため、授業に出なければ私の意図する教育はできない。授業中は、私語、ケイタイ等はしてはいけない。				
キーワード							
生命、自然、食料、環境、バイオテクノロジー							